夢と志【学校通信】

平成 25 年 4 月 12 日
第 47 号

西中の風

～『信頼と笑顔』毎日1,500の思いやりあふれる学校生活 ～

伊丹市立西中学校長
豊田　實

第六十七回入学式式辞（抜粋）

近頃の陽気でユキヤナギ、桜、モクレンと次々に鮮やかな花を咲かせており春の息吹を感じることができます。今日も、皆さんの入学をお祝いするかのようなおだやかな日和となりました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとう。ようこそ、本校へ入学されました。皆さんが登校する日を心待ちにしておりました。西中学校の制服を着た感想はいかがでしょうか。いよいよ中学生となりましたね。これから、皆さんが勉強、また、生徒会活動や部活動に励まれることを期待しています。

まず、初めに学校生活ではルールがどうして大切なのかをお話ししましょう。制服を着ることを例えに世の中にはルールがあることをこの場でも知識としましょう。将来社会に出て働く場合、会社などでは制服（ユニホーム）を着用します。スポーツなど学校を代表しての大会でも誇りを持ってユニホーム姿で競い合います。皆さんが立派な青年、大人となるために、定めたルールを守る意識（考え方）を身に付ける期間が中学校時代なのです。そして、皆さんが成長し自立できるほどになれば、自分で責任を持つことによって、それぞれの道を進んでください。また、先生から受け取ったプリントやお手紙は必ずその日のうちにお家の人に見てもらってください。提出物は決められた日に出しましょう。私が自信を持って言えることがあります。提出するものをきちんと守れる学級の生徒たちは優秀な仲間に成長します。

（新入生たちのまなざし）

学校で学習したこと、体験したことをお家の人にお話しましょう。そして、授業参観日や体育大会、文化祭にはぜひ、ご家族に学校へ来ていただきましょう。皆さんの成長を見ていただけることが大切です。知識を吸収する勉強は独りでやりきる能力をつけられるよう先生たちはアドバイスします。考えを深めるためには教室で仲間と共に学習することが役立ちます。学習成績は学校と自宅と両方の習慣があってこそ伸びるものなのです。

以前の説明会で、お母さんお父さんが来校された時にお話ししたことを入学生の皆さんにもお話します。学校の目指すこと、それは「信頼」を大切にしたいということです。生徒同士、先生と生徒、そして、お父さんお母さんと先生たちが「信頼」で結ばれていることです。キャッチフレーズを紹介します。（『信頼と笑顔』毎日千五百の思いやりあふれる学校生活）です。皆さん全員が誰にでもできる小さな思いやりを毎日三つ実行しましょう。皆さんが考える思いやりとはどのようなことがありますか。（気遣い）気付いてあげられる、（協力）力を合わせて行動する、（安心）笑顔で接する、（仲間意識）友だちの独りぼっちを心配する。思いやりは、相手がいることで、学級があることで、委員会活動や部活動があることで成り立ちます。

今日、皆さんが西中生となって全校生徒（五百四十二人）の活動場所となります。一人一人が毎日、三つずつやさしい行いをすれば、学校内は毎日、千五百の思いやりで溢れることになるのです。よい雰囲気で笑顔がどんどん増えてくれば、ますます、すばらしい学校になるのです。

（新入生誓いのことば：浅生優香さん）

保護者の皆様、お子様のご入学をお祝い申し上げます。今後の見違えるほどの成長を楽しみにされていることと存じます。中学校生活三年間で子どもたちは、ものの見方や考え方が広がり、大人に対する見方もときには厳しくなります。しかし、その一方では、自分に自信が持てずに悩みや不安が広がる時期でもあります。どうぞ、お子さまから目と心を離さずに、また、心の叫びを受けとめ相談相手となってください。お子さまが健やかに成長しますよう、教職員、そして地域の方々と共に手を携えお力添えくださいますようお願い申し上げます。

また、本校ではインターネットホームページを活用した情報発信に心がけております。すでに成果が上がっており、現在３０パーセント以上のご家庭で、時々見ているとの回答がありました。行事記録だけではなく進路指導に関すること、教員の授業準備である計画書や資料、トピックスで事前の情報をご覧になることでリアルタイムに近い教育活動をご理解いただけるよう努めてまいります。

子どもたちが、さわやかな「西中の風」を感じさせる活躍を心から願っております。以上を持ちまして式辞といたします。

平成 25 年 4 月 10 日

（※ホームページにアクセスしてカラーでご覧ください）